

長時間過密労働の解消は、教職員の大幅増で！

職場の声を
署名に！

ストップ！1年単位の变形労働時間制

公立学校に「1年単位の变形労働時間制」を導入するための法案が、国会に提出されようとしています。この制度の導入は、長時間過密労働の解消につながるどころか、今よりもっと深刻な事態を引き起こすものです。

全教・都教組は、この制度を導入しないことを求める請願署名運動を始めました。職場のみなさん、ご協力をお願いします。知人、ご家族のみなさんにもぜひ広めて、世論を盛り上げましょう！

職員会議や研修も6時まで？
保育園のお迎え間に合わない！
授業の準備はいつやれるの？

現行	時間外	所定(7時間45分) + 休憩(45分)	時間外	16:45	のびるおそれも
導入後	時間外	所定(8時間45分) + 休憩(1時間)	時間外	18:00	

退勤は何時？

「1年単位の变形労働時間制」とは？

授業のある期間を「繁忙期」として所定の勤務時間を延長し、「閑散期」とされる長期休業中の勤務時間を短縮することによって、年間で平均した週当たりの労働時間が週40時間を超えないようにする制度です。

政府は、地方自治体の条例等によって導入しようとしています。

導入されている職場の方が勤務時間が長い報告も

所定の勤務時間と残業時間の比較(月平均)

時間制度	所定の勤務時間	残業時間	合計
通常の勤務時間制	180.9時間	23.2時間	204.1時間
变形労働時間制	195.9時間	27.0時間	222.9時間

実効ある対策を

「学活」「総合」等も含めた授業持ちコマ数の上限(小学校20コマ、中学校18コマ、高校15コマ)を設定し、それを可能にする教職員定数を抜本的に改善する

小学校から高校までのすべての学年で少人数学級を実現する

「全国学テ」をはじめ、子どもを苦しめ、教職員を追い立てる「競争と管理」の教育政策の抜本的転換をはかる

「時間外勤務は命じられない」とする原則を堅持した上で、時間外勤務手当を支給するなど「給特法」を改正する

2020年度の杉並区教育予算に対して要請 教職員の定数増と、区として できる仕事内容の精選を

既報のように、8月28日、杉並支部は来年度の区教育予算について要請をおこないました。

【組合】現場では様々な面で仕事が増えている。精選すべきは精選してほしい。

【組合】学力調査は実施内容、学年、結果の出し方などそれぞれ違っている。授業改善と学力向上に役立てていきたい。

【教委】体力調査のアンケートや転記などの問題については都にも出していきたい。低学年については学校の工夫を支援していきたい。

【教委】連合運動会については、校長会の方も何かしら改善が必要かなという認識はもっているようなので、一緒に考えていきたい。

【教委】オリンピック・パラリンピックについては、都から来ているもので、区としてこうしろ、ああでなくてはいけないとは考えていない。学校の取り組みを支援していくというスタンスだ。

【教委】小中一貫教育については、学校の実情にに応じてやっていく傾向が広まっている。いろいろな形で支援していきたい。

【組合】杉並の特別支援教育のいっその充実を。

【教委】特別支援教室の区費教員の加配は3年間限定で加配している。その後も続けたいが、本来の主旨と違ってくるのでむずかしい。

【教委】介助員については、区の規定に基づいて配置している。何とかしていきたいという思いはもっている。

【組合】済美養護学校の現状は限界だ。大規模化・過密化解消の早急な手立てを。分校化を考えられないか。

【教委】問題については、庁内でも短期的、長期的にどうするか、検討している。

【組合】パワハラ相談が増えている。区としても対策を。窓口はどこか。

【教委】教員の人事・服務を扱う課は人事企画課なのでここが窓口になって相談を受けている。実際に相談も受けている。校長会では、管理職がまず気を付けること、そして、職員間の様子をよく見守るように話している。

東京都教職員組合
杉並支部情宣部
2019年
10月4日
NO.7
Tel 3399-8719
Fax 3399-3855
ホームページ
http://tokyousosuginami@web.fc2.com

都教組杉並支部 青年部教研



面接指導の悩み これで解決

中学3年生の面接指導。志望動機などを聞かれてもどう答えていいかわからない生徒がたくさんいます。そのような生徒たちが「自分」を語れるようになるために、どんな指導をしたらよいのでしょうか。高円寺中学校の守屋彰文先生に実践報告していただきました。



「何を話せばよいのかわからない」から「自分のことを、自信をもって語れる」ようになるための指導のポイントは、言葉を引き出してあげること。断片的に出てきた言葉を、その生徒の過去の体験や、そこで感じたこと等と照らし合わせて具体的に尋ねていく。

「何をしたんですか?」「楽しかったってどんなこと?」「どんな言葉だったの?」
この繰り返しで次第に言いたいことが見えてくる。生徒から出た言葉を様々な角度から尋ねたり掘り下げたりすることで、その子の内面に潜む思いや考えを引き出していく。(コーチングインタビュー)他者から褒められたり感謝された経験や自分が役に立った経験などは自己肯定感につながっていく。そのためには、担当が事前に、その生徒の長所や性格、興味を持っていること

- ・その子が中学生活で取り組んだこと (部活動や行事など)
 - ・普段の学校生活の様子(係や当番活動)
 - ・職場体験などに関する学習履歴
- などをしっかり把握しておくことが必要。



実際に指導に使用した詳細な資料をもとにわかりやすく実践報告をしていただきました。

自分を語れるようになることは、それまで気づけなかった自分自身の良さに気づくことにつながり、自信につながっていく。また、「私はこうする」と、物事に対する自分なりのビジョンという概念が獲得できる。さらに自分自身の将来の生き方について考えるきっかけともなる。

「進路指導は人生の節づくりともいえるものです」という守屋先生のまとめの言葉が印象的でした。(K)

歴史に 学び 朝鮮半島との 平和を築くために

一橋大学大学院准教授 加藤 圭木さん講演

今年の夏も「杉並ピースフォーラム」が杉並産業商工会館で開催され、三日間で二八〇人が参加しました。記念講演を担当された加藤圭木さんのお話を紹介します。

この間、日本と韓国をめぐる問題は非常に深刻な状況が続いています。二〇一八年十月、徴用工問題で日本企業に賠償を命ずる大法院(韓国最高裁)の判決が出されました。日本政府は二〇一九年八月二日、韓国を輸出管理の優遇対象国(旧「ホワイト国」)から除外することを閣議決定しました。日本社会には今、反韓ムードがただよっています。

一方、朝鮮半島は今、大きく変わろうとしています。二〇一八年初頭から、南北融和、米朝対話が紆余曲折を経ながらも進んできました。朝鮮半

島の分断を乗り越え、平和な東アジアへ、という方向性を持ったものです。ところが、日本側には否定的な認識が広がっています。そもそも朝鮮半島の分断の本には、日本の植民地支配があつたことを認識する必要があります。日本は十九世紀後半から朝鮮を侵略、一九一〇年韓国併合、以後三十六年の日本の支配がなければ、朝鮮は近代的民族国家をつくり上げていたでしょう。日本がその可能性をつぶしたことによつて、南北が分断される条件をつくつてしまったということ

ができます。日本は加害者側の国家であることを忘れてはなりません。

今年には朝鮮独立運動一〇〇年一九一九年三月から始まった独立運動は、朝鮮全体で二〇〇万人が参加しました。日本は警察力軍事力による徹底した弾圧で臨みます。韓国独立運動血史には死者七千五百



記念講演をする 加藤圭木准教授

九名、負傷者一万五千八百五十名と記されています。徴用工問題の本質は(略)日本軍「慰安婦」とは(略)今、大切なことは日韓で共に学ぶ場を広げること、一人一人の力を合わせることで

杉並ピースフォーラム写真

九名、負傷者一万五千八百五十名と記されています。徴用工問題の本質は(略)日本軍「慰安婦」とは(略)今、大切なことは日韓で共に学ぶ場を広げること、一人一人の力を合わせることで



都教組杉並支部OB・OGも多数参加して「平和を歌う」

会場ではテレビ視聴やPPT視聴、絵本の読みきかせも



横田基地・住民の運動の証言 被爆体験の証言も...

「杉並の戦争と平和」展示に見入る人たち

